

【大学院】アセスメントプラン

1. 大学院アセスメントプランの目的

大学院アセスメントプランは、大学院生の学修成果を3つのレベル（機関レベル、教育課程レベル、科目レベル）において可視化し、教育活動の改善につなげることを目的としており、各指標を基に総合的評価を行うための実施方法を定めたものです。

そのため、研究科・専攻（学位プログラム）において展開している教育活動についても、その質の保証と向上を図ることを目的として、3つの方針（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）に基づいて学修成果を点検・評価し、その結果を教育内容や教育方法、学修指導などの改善につなげます。

2. アセスメント対象と指標（具体的な検証方法）

アセスメントは以下の基本構成で行い、必要に応じて各指標を相互に関連させて実施します。また、機関レベルの評価は、教育課程レベルと科目レベルの各指標を基にして多面的・総合的に評価します。

アセスメント対象	アドミッションポリシーの適切性	カリキュラムポリシーの適切性	ディプロマポリシーの適切性	3ポリシーの整合性
機関レベル（全学・大学院）	大学院の基本理念・目的との整合性 ・学生の受入れ、受入れ方法の適切性	大学院の基本理念・目的との整合性 ・教育課程の適切性 ・学修・教育成果の評価 ・教育課程の体系性・一貫性 ・教育方法の適切性 ・学修支援・施設・設備の適切性	大学院の基本理念・目的との整合性 ・教育課程の適切性 ・学修・教育成果の評価 ・教育課程の体系性・一貫性 ・教育方法の適切性 ・学修支援・施設・設備の適切性	大学の基本理念・目的との整合性 ・教育課程の適切性 ・学修・教育成果の評価 ・教育課程の体系性・一貫性 ・教育方法の適切性 ・学修支援・施設・設備の適切性
指標 教育課程レベル（研究科・学位プログラム）	選抜機能評価 ・入学試験の成績 ・日本語能力試験の成績(留学生) ・志願書類等の記載内容 ・GPA 入学前教育の有効性 ・入学時意識調査	成績評価の適切性 ・GPA 設計・実行の適切性 ・カリキュラムマップとシラバスの検証(DPと各科目の内容、履修要件や難易度に不都合がないか、カリキュラムで想定している能力を修得しているかの確認等と併せて実施) ・学位論文ルーブリック 学修成果の適切性 ・成長実感・満足度 ・ポートフォリオ(研究・教育業績・受賞・表彰等) ・学修時間(正課外)	学修成果の適切性 ・DPルーブリック ・修了生調査(修了時) ・DP到達度調査 ・累積GPA ・学位論文ルーブリック ・学位論文評価(倫理教育プログラムを含む) ・ポートフォリオ(研究・教育業績・受賞・表彰等) ・学修時間(正課外) DPおよび学修成果の評価の適切性 ・修了生調査(OB・OG) ・就職先調査	成果からのアセスメント ・標準修業年限修了率 ・就職率・進学率 ・学位授与率 ・修了生調査(修了時) ・DP到達度調査 プロセスからのアセスメント ・休学率 ・退学率
科目レベル（授業）		成績評価の適切性 ・学位論文評価 ・GPA、各科目成績分布 設計・実行の適切性 ・単位授与率 学修成果の適切性 ・授業振り返り(授業評価アンケート)		